大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F102310100603	設置等組織名	ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科
大学名	青森大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	青森	事業計画名	青森大学地域課題解決型情報インタフェース強化事業

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	①-1令和5年7月：㈱フォルテ様などとDXを活用した共同研究に関する事前協議の実施 ①-2令和5年9月：㈱東京堂様等とむつ市の理系人材を育成するための事前協議の実施 ①-3令和5年10月：東京都江戸川区役所様等と江戸川区を中心としたDX推進関連協働事業などの事前協議	①-1令和5年9月：㈱フォルテ様などとDXを活用した共同研究に関する事前協議の実施 ①-2令和5年10月：㈱東京堂様、むつ商工会議所等とむつ市の理系人材を育成するための事前協議の実施 ①-3令和5年11月：東京都江戸川区役所様等と江戸川区を中心としたDX推進関連協働事業などの事前協議	令和5年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	①-4令和6年4月～令和7年3月：情報館（仮）の改修および新設等に関する学内検討、見積もり合わせ ①-5令和6年10月～令和7年3月：高校生への特定成長分野に関する受容性調査（調査報告書作成含む） ①-6令和6年10月：文部科学省へ定員増（入学定員：20名増）に関する事務相談等	①-4令和6年4月～令和7年3月：情報館（仮）の改修および新設等に関する学内検討、見積もり合わせ ①-5令和6年10月～令和7年3月：高校生への特定成長分野に関する受容性調査（調査報告書作成含む） ①-6 -1令和6年10月：文部科学省へ定員増（入学定員：20名増）に関する事務相談等 ①-6-2令和6年11月：文部科学省へ定員増申請に関連する事前相談申請を行った。（ソフトウェア情報学部の「工学関係」の学位確認申請） ①-6-3令和６年12月：文部科学省へソフトウェア情報学部定員増申請に関連する届出を行った。（特定地域内学部収容定員増加届出）	令和6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	②-1令和7年4月～令和8年3月：青森キャンパス内へ特定成長分野の人材育成に特化した情報館（仮）の改修および新設 ②-2令和7年4月～令和8年3月：その他、各キャンパス内関連施設・機器等の見直し、増設等 ②-3令和7年6月：文部科学省へ定員増（入学定員：20名増）に関する認可申請および関連届出	②-1令和7年4月～令和8年3月：青森キャンパス内へ特定成長分野の人材育成に特化した情報館（仮）を整備するために3号館・5号館を中心とした改修 ②-2令和7年4月～令和8年3月：その他、各キャンパス内関連施設・機器等の見直し、増設等 ②-3令和7年6月：文部科学省へ定員増（入学定員：20名増）に関する届出申請	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度			令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	③-1令和9年10月：学生の内定先企業等への満足度調査の実施		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	③-2令和10年９月：入学生への満足度調査の実施 ③-3令和10年10月：産業界含む学外へ本学の特定成長分野の人材育成の取り組み等に関する調査の実施		令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	③-4令和11年1月：連携高校等へ本学の特定成長分野の人材育成の取り組み等に関する調査の実施		令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和７年６月：ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科 入学定員20名定員増認可申請および関連届出	令和７年６月：ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科 入学定員20名定員増届出申請	
定員減又は 学部等の廃止			

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	青森大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）㈡に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
青森県青森市に本社を置く企業や青森県むつ市に本社を置く企業、東京都江戸川区を中心に活動している企業、および本学のキャンパスを設置している自治体などと連携した科目を整備すべく、交渉や調整を行い、特定成長分野の人材育成を踏まえたPBLなども活用した科目の整備、実施を行っていく計画である。	青森県青森市に本社を置く企業や青森県むつ市に本社を置く企業、東京都江戸川区を中心に活動している企業、および本学のキャンパスを設置している自治体などと連携した科目を整備すべく、キャンパスを置く地域の各種団体等と今後の連携等に関する交渉・調整等を行った。自治体関係では、令和7年度に青森市役所における青森市長や担当課へ連携に関する交渉、むつ市役所におけるむつ市長及び企画調整課等へ連携に関する交渉、東京都江戸川区における経営企画部企画課等へ連携に関する交渉や調整等を行った。企業関連では、青森市では青森商工会議所へ本学の事業の進捗状況と連携に関する継続交渉、青森公立大学、NPO法人あおもりIT活用サポートセンター、㈱日本農業、シニアネットワーク東北、北海道大学電子科学研究所等の企業等とPBL科目に関する協力・学生への指導の調整などを行った。むつ市では、むつ商工会議所へ連携に関する交渉、㈱東京堂、量子科学技術開発研究機構六ヶ所フュージョンエネルギー研究所、㈱むつ車体工業、東京電力ホールディングス㈱等の企業等とPBL科目に関する協力・学生への指導の調整などを行った。その他にも、2025年8月26日にむつ市、むつ商工会議所、青森みちのく銀行、青森大学の4者が連携し、新規事業の創出や地域企業の育成、人材育成を総合的に推進するため、産学官金連携のプラットフォーム「CROSS QUAD」（クロスクアッド）を設立し、今後DX人材の育成を推進していく予定にしている。東京都では、東京商工会議所江戸川支部へ本学の進捗状況と連携に関する交渉、㈱ID、㈱ NTT-ME、㈱ Link-Pass、（一財）交通経済研究所、東京大学大学院情報工学系研究科、CyCraft Japan、㈱ コンティニウム・ソーシャルなどの企業・団体等と特定成長分野の人材育成を踏まえたPBLなども活用した科目の整備、実施を行うために交渉や調整などを行い、これらの内容等について議論を重ねた。また、学内で青森大学地域課題解決型情報インタフェース強化タスクフォースでの議論を踏まえ、3キャンパス・カリキュラム編成準備委員会及び全学教務委員会などを通じ、今後の文理融合教育の推進等、会議体での議論を行い、学部融合型のプレ講義などを行いながら、令和8年度からの本格運用を見据え議論・調整を重ねた。今年度までの取り組みでPBL等を活用した科目展開が充実してきたが、次年度以降は、産学官金連携のプラットフォーム「CROSS QUAD」（クロスクアッド）の枠組みなどを活かし、社会のニーズにマッチした教育・研究活動を引き続き行い、本学からニーズにマッチした人材を輩出していけるよう引き続き自治体・企業等との連携を強化・深化していきたい。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
□ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学として多様な入学者の確保に向けた取り組みとして、４点挙げて説明したい。１つめとして、入学者選抜における科目の見直しを行い、従来より地域活動への意欲を問うていたが、今後は一般選抜で「情報」を選択できるような検討、思考力を問う項目を追加することなどを検討し、入学者選抜に関して社会のニーズ等を踏まえた形で見直しなどを行っていく。２つめとして、地域の初等中等教育段階の学校と連携した出張授業や教育関連イベント等を通じ、連携事業等に取り組む中で本学の特定成長分野の人材育成における魅力等を発信し、今後の学生募集につなげていく。３つめとして、本学は社会人の受入れ体制は整備されているが、入学者はまだまだ少ないため、社会人を対象とした、特定成長分野の内容を含んだリカレント教育の推進、リスキリングのために３キャンパスに関連する自治体や企業などに働きかけを行い、入学者の確保について推進していく。４つめとして、留学生についても増えてきているが、さらに受入れ強化を図るため、在学留学生の声などを参考に、出口の保証など留学生に多様な社会選択をさらに提供すべく、本学の魅力を国内外に向けて発信し、多様な入学生の確保をしていきたい。	本学として多様な入学者の確保に向けた4点の取り組み状況として、１つめの「入学者選抜における一般選抜での「情報」を選択できるような思考力を問う項目を追加することなどの検討」については、入学者選抜・継続支援管理委員会及び関連部会等にて議論を重ね、思考力を問う科目の追加等を踏まえた見直しについて検討を重ね、令和6年度実施の一般入試より各学部で情報科目を受験生が選択できるよう見直しを行い、受験生の多様な能力を図りながら多様な入学者の確保に努めている。 ２つめの「地域の初等中等教育段階の学校と連携した教育関連イベント等を通じ、本学の特定成長分野の人材育成における魅力等を発信し、今後の学生募集につなげていく。」ごとについては、青森県内の高大連携協定を締結している高等学校を中心として、本学の連携担当の教職員を調整役として、高大連携事業や出張講義等を行っている。各キャンパスにおいても小学校・中学校向けの教育関連イベントなどを行い、相互展開を行いながら地域の初等中等教育段階の学校との交流などを深め、特定成長分野の人材育成における魅力等を発信しており、学生募集にも着実に繋がってきている状況である。 ３つめの「社会人を対象とした、特定成長分野の内容を含んだリカレント教育の推進、リスキリングのために３キャンパスに関連する自治体や企業などに働きかけを行い、入学者の確保について推進していく。」ごとについては、キャンパスを置く青森市、むつ市、江戸川区などの自治体等とお互いの課題等を共有しながら協議を重ね、市民・社会人を対象とした教育イベントなどを少しずつではあるが展開し社会に開かれた大学である旨をアピールして入学者確保の一助としているところである。 ４つめの「在学留学生の声などを参考に、出口の保証など留学生に多様な社会選択をさらに提供すべく、本学の魅力を国内外に向けて発信し、多様な入学生の確保をしていきたい。」ことに関しては、留学生からのヒアリングなどの状況を踏まえ、東京キャンパスを中心に、会議体での議論等を踏まえ、東京外国人雇用サービスセンター、東京商工会議所江戸川支部、江戸川区役所、地元金融機関などに協力していただき、キャンパスがある地域を中心とした就職先の拡大など出口の保証も含む学生支援体制の強化を行い、留学生の内定率も向上に向かっている。また、本学の魅力の発信については、学生たちの活動を積極的に取り上げ、青森大学だより（学生が作成する学生新聞）やSNS等を活用し、各キャンパスを通じ国内外に発信頻度を増やしている。これらの取り組みを行いながら、逐次振り返りなどを行い、不断の見直しをしながら、社会のニーズを捉えつつ、本学学生の声や3キャンパスを設置している地域の声、入学予定者の声などに寄り添った取組みを行い、引き続き教職協働体制で取り組みの推進、入口から出口まで一貫した学生支援の強化等を引き続き展開していきたい。	

大学名	青森大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	既存学部の収容定員の増加
学部学科名	ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科（工学関係）

大区分	小区分	年度 / 改組状況 / 項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度 届出	R8年度 増員	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人				90															
		編入学定員	人				0															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	70	70	70	90															
		入学者数	人	62	71	72	54															
		女子学生数	人	11	6	13	14															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	9	14	11	18															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	0																
		入学者数	人	-	-	0																
		女子学生数	人	-	-	0																
		社会人学生数	人	-	-	0																
		留学生数	人	-	-	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	70	70	70	90															
		入学者数(B)	人	62	71	72	54															
		女子学生数	人	11	6	13	14															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	9	14	11	18															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.89	1.01	1.03	0.60															
	収容定員等	収容定員(C)	人	220	240	260	300															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	220	236	249	246															
		編入学者数	人	1	1	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.00	0.98	0.96	0.82															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	50	47	51																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	6	5	6	9															
		授業科目の単位数	単位	52	50	110	138															

大学名	青森大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	70	70	70	90															
		入学者数	人	62	71	72	54															
		女子学生数	人	11	6	13	14															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	9	14	11	18															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	0																
		女子学生数	人	-	-	0																
		社会人学生数	人	-	-	0																
		留学生数	人	-	-	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	70	70	70	90															
		入学者数(B)	人	62	71	72	54															
		女子学生数	人	11	6	13	14															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	9	14	11	18															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.89	1.01	1.03	0.60															
	収容定員等	収容定員(C)	人	220	240	260	300															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	220	236	249	246															
		編入学者数	人	1	1	0	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.00	0.98	0.96	0.82															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	50	47	51																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	6	5	6	9															
		授業科目の単位数	単位	52	50	110	138															

大学名	青森大学

３.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	320	320	320	270															
		入学者数	人	315	297	299	258															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	0															
		入学者数	人	-	-	0																
	入学者合計	入学定員(A)	人	320	320	320	270															
		入学者数(B)	人	315	297	299	258															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.98	0.93	0.93	0.96															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1380	1380	1400	1370															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	1187	1204	1224	1170															
		編入学者数	人	3	5	6	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.86	0.87	0.87	0.85															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定													
項目	単位																		
外部資金獲得額	千円	25,463	148,163	81,710	80,241	12,055	71,135	79,583	15,251										

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金	千円	62,471
本事業による助成金の額(F)	千円	147,833
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	66,167

特記事項

本学の編入学定員は、若干名となっており、編入学試験で合格し、入学した場合には対応する年次に編入学しているため、各項目の対応する編入学者数の欄には編入学者数を入れている。
本学のその他の学期の入学定員は、若干名となっているため、0と記載している。その他の学期で入学希望者がいる場合に入学試験を実施し、その試験で合格し、入学した場合には数としてカウントするため、
その場合には、その他の学期の各項目の対応する入学者数を入れている。